令和２年９月

News Release

静岡県商工会連合会

県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和２年８月期　小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和２年８月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

１ 調 査 概 要

（１）調　査　時　点　令和２年８月 31 日

（２）調　査　対　象　県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1％】

（３）調査対象業種　製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種

（４）調　査　方　法　商工会の経営指導員に対するアンケート方式

（５）集　計　方　法　質問項目(業況､売上､仕入単価､採算､資金繰り)の｢好転･増加･上昇｣とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

２ 概　要（トピックス）

【全体の業況は好転しているが、新型コロナウイルスの感染症の長期化が懸念されている】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-45.6（前月-54.4、前年同月-8.1）で、前月比 8.8pt 好転した。建設業において地域における工事券事業や建設資材の供給が落ち着きをみせ始めており、受注拡大に繋がり全体の業況 DI を押し上げた。しかし、食料品製造業は原料の高騰により業況が悪化、今後の動向に注視していく必要がある。

【製造業】

業況は-43.1(前月-43.2、前年同月-15.6)と前月に比べ 0.1pt 好転した。機械金属業が動き出し、業況が改善傾向であるが、食料品関係における原料の高騰や繊維工業関係の動きが鈍い事で製造業全体の業況の好転幅が小さい状況となった。

【建設業】

業況は-38.3(前月-58.9、前年同月 11.8)と前月に比べ 20.6pt 好転した。地域によってはプレミアム工事券の発行があり、受注拡大に繋がっている。また、公共事業の受注が安定して入っている事で業況は大幅に好転した。

【小売業】

業況は-41.2(前月-52.9、前年同月-16.7)と前月に比べ 11.7pt 好転した。秋物衣料が動き出し、来店客が増加傾向であった。また、地域によりプレミアム付商品券が発行され、耐久消費財の売上が増加した。

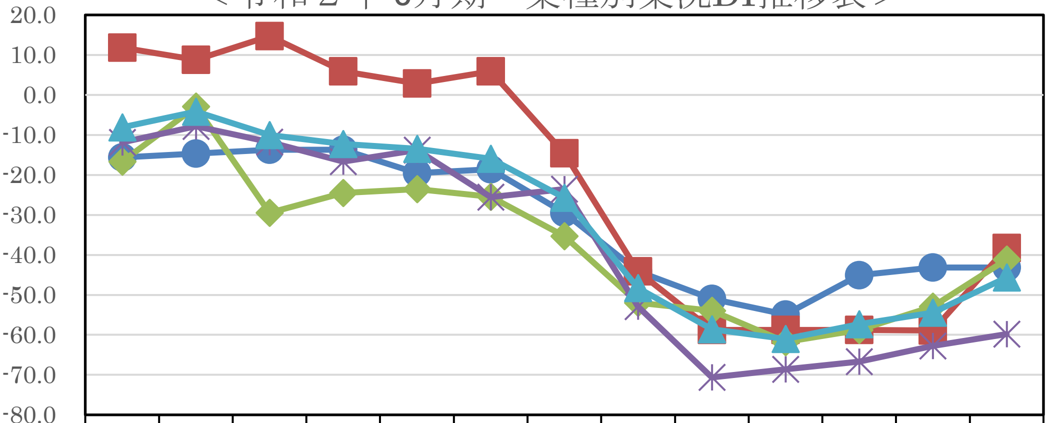
【サービス業】

業況は-59.8(前月-62.8、前年同月-11.8)と前月に比べ 3.0pt 好転した。旅館業が GoTo キャンペーンにより、高価格帯料金施設を利用する方が多くみられた。理美容においてコロナ対策による客数の制限や花火大会等のイベント減少により、売上が減少傾向である。

３ 本調査に関する問合せ

静岡県商工会連合会 産業振興課 ℡054-255-9811〔担当:戸塚〕

＜令和２年8月期　業種別業況DI推移表＞



	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
DI値（製造業）	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1
DI値（建設業）	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3
DI値（小売業）	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2
DI値（サービス業）	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8
DI値（全業種平均）	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

・食料品関係は観光需要が低迷し、通常なら繁忙期だが売上が減少した。（伊豆）
・食料品で原料の高騰と土産物の売上減少で業況が厳しい。（富士駿東）
・食料品製造業において勤務時間の短縮等が行われている。（中部）
・自動車部品関係で一時、受注減により従業員を休ませていたが、ここにきて受注が増加し、フル回転で稼働している。（中東遠）
・ナット製造業にてコロナ禍において 80％程度まで回復してきた。（西遠）

【建設業】

・プレミアム工事券事業により、受注拡大に繋がっている。受注はあるが、職人不足により、断っている状況である。（伊豆）
・公共事業を中心に手掛けている企業は受注を確保できている。（富士駿東）
・受注は 6・7 月と比較し回復傾向にあるが、前年同月と比較するとコロナの影響により未だ減少傾向にある。（中部）
・公共事業の減少が懸念されるものの、現在のところ横這い。（中東遠）
・住宅の基礎関係業者でコロナの影響を受けず、順調に売上を伸ばしている事業所もある。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

・衣料品において来店客が若干増加傾向にあるが、前年度には及ばない状況。（伊豆）
・食料品は天候不順により野菜の価格が高騰した。（富士駿東）
・8 月お盆過ぎから、秋物衣料が動き始めた。外出はできないが洋服購入でストレスの解消をするお客様が来店している模様。（中部）
・プレミアム付商品券の発行で家電店、タイヤショップ、酒のディスカウント店が売れた。（中東遠）
・3 密対策補助金の影響や猛暑によりエアコンの売上が増加。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

・旅館については GoTo キャンペーンによりリーズナブルに宿泊できることから個室風呂などのある高価格帯料金施設の利用が多くみられた。（伊豆）
・コロナのクラスター発生により飲食業の業況が更に厳しくなった。（富士駿東）
・理美容業にて完全予約制とし、お客様が重ならないようコロナ対策をしている。（中部）
・花火大会や祭典等がなく、理美容事業所の売上は減少。（中東遠）
・理美容において、常連客の減少及び電話にてコロナ対策をしているかとの問合せがある状況。（西遠）

小規模企業景気動向調査（令和２年８月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-50	-44.2	悪化
売上	-44.1	-41.1	減少
仕入単価	2.9	0	上昇
採算	-50	-50	不変
資金繰り	-44.1	-50	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-23.5	不変
売上	-23.5	-20.5	減少
仕入単価	2.9	3	低下
採算	-20.5	-17.6	悪化
資金繰り	-17.6	-17.6	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-55.9	-61.8	好転
売上	-55.9	-64.7	増加
仕入単価	5.9	-2.9	上昇
採算	-55.8	-58.8	好転
資金繰り	-55.8	-61.7	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.3	-58.9	好転
売上	-29.4	-41.1	増加
仕入単価	-5.8	-5.9	上昇
採算	-38.3	-53	好転
資金繰り	-38.3	-53	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-55.9	-73.5	好転
売上	-49.9	-64.7	増加
仕入単価	0	-11.8	上昇
採算	-41.2	-55.9	好転
資金繰り	-50	-64.7	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-41.2	好転
売上	-14.7	-14.7	不変
仕入単価	23.5	8.8	上昇
採算	-41.1	-44.2	好転
資金繰り	-29.3	-47.1	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.2	-44.1	好転
売上	-26.5	-35.4	増加
仕入単価	3	3	不変
採算	-32.4	-32.4	不変
資金繰り	-35.3	-47	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-67.7	好転
売上	-61.7	-64.7	増加
仕入単価	-2.9	-5.9	上昇
採算	-49.9	-64.6	好転
資金繰り	-58.8	-67.6	好転

9.洗濯業

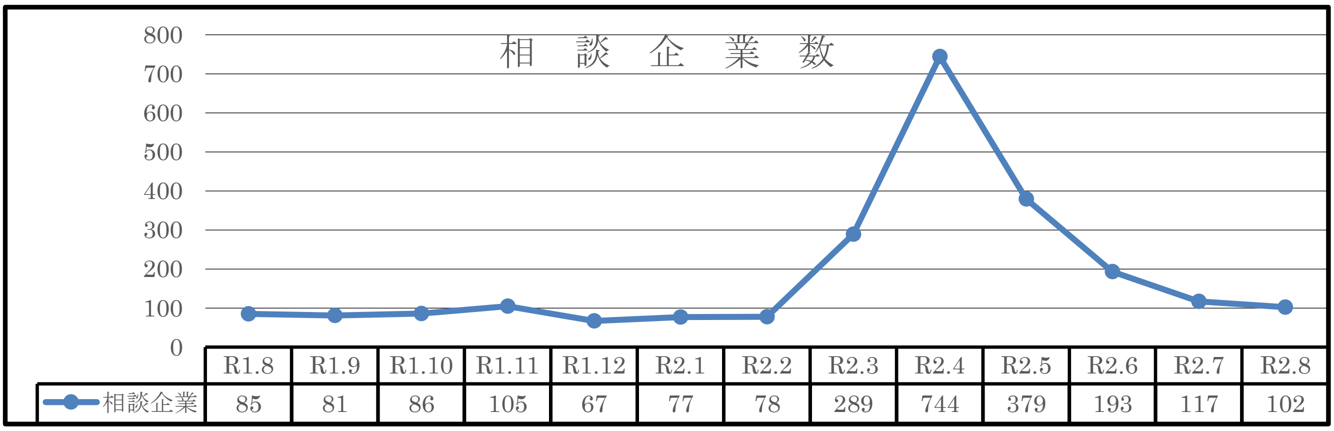
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-61.8	好転
売上	-61.7	-64.7	増加
仕入単価	2.9	-8.8	上昇
採算	-47	-50	好転
資金繰り	-44.1	-55.9	好転

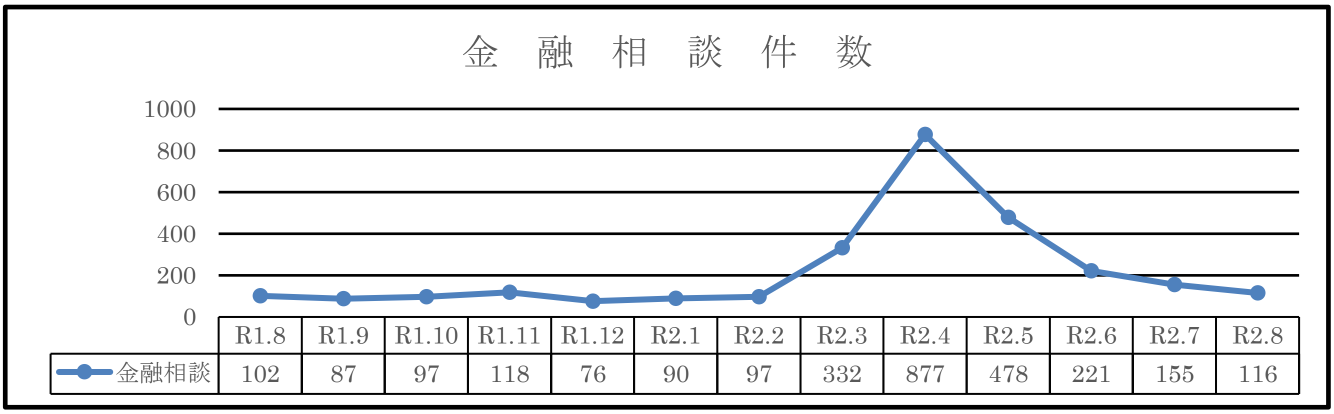
10.理美容業

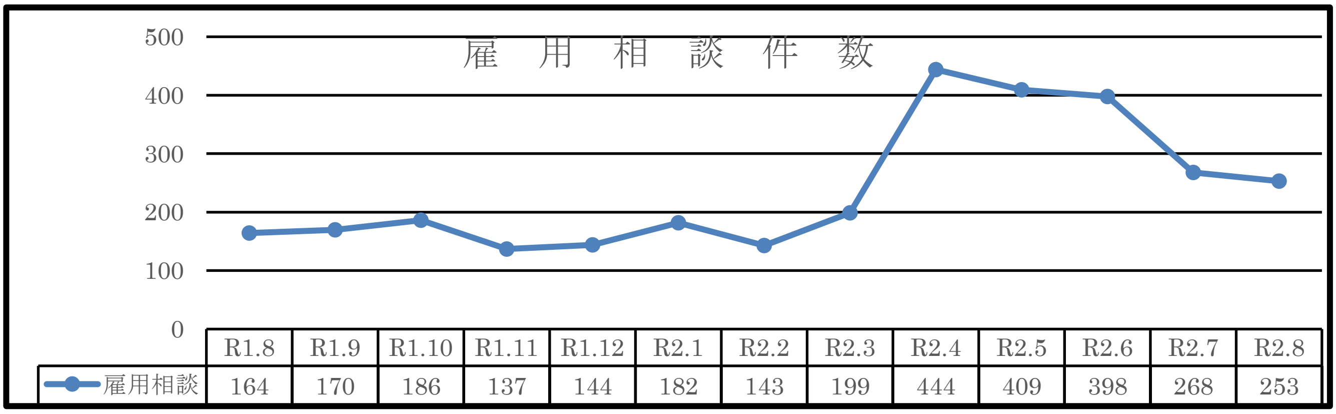
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-58.8	悪化
売上	-67.7	-55.9	減少
仕入単価	0	-2.9	上昇
採算	-53	-50	悪化
資金繰り	-58.9	-58.9	不変

金融･雇用相談実績月次報告(令和 2 年 8 月期)

内容別内訳 (※１件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	102	117	-15
【金融相談件数】	116	155	-39
新規融資（借換えを除く）	70	98	-28
既存債務の借換え	38	47	-9
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	8	10	-2
【雇用相談件数】	253	268	-15







【金融相談】

金融相談件数は、116 件と前月（155 件）に比べ 39 件減少した。金融相談が減少傾向にあるが、相談内容は新型コロナ関連が多い状況は続いている。また、特別利子補給制度の手続きが始まり、問合せが増えつつあり、今後も増加傾向が予想される。

＜経営指導員コメント＞

・春先の資金調達で夏季の需要は低調であるが、年末に向け、コロナ状況が悪化し経済が低迷したときは資金ショートの可能性が高い事業者が潜在的に多いと予想される。（伊豆）
・融資相談は減少傾向だが、飲食店を中心に資金繰りは厳しい状況が続いている。（富士駿東）
・依然、融資相談は新型コロナウイルス関連の内容である。（中部）
・諸経費支払・仕入資金など当面の運転資金及び店舗改装資金に伴う設備投資への資金案件が出ている。また、特別利子補給制度の手続きが始まり、申請に関する問合せがある。（中東遠）
・コロナの無利子関連に関わらず、運転資金の相談が増えつつある。（西遠）

【雇用相談】

雇用相談件数は、253 件と前月（268 件）に比べ 15 件減少した。依然、地域により雇用調整助成金の相談件数差が見られる。適宜対応している状況である。

＜経営指導員コメント＞

・雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金に関する相談が多い。（伊豆）
・雇用調整助成金に関し、売上が回復し翌月の申請は不要になったという事業所が出てきている。（富士駿東）
・雇用調整助成金に関する相談と雇用保険手続きに関する相談が多い。（中部）
・雇用調整助成金に関する相談が落ち着いてきており、入退社の手続きによる相談がある。（中東遠）
・休業申請について申請を希望する企業が依然として多い。また、雇用調整助成金について、従業員から直接相談がくる場合がある。（西遠）

【その他商工会管内に関するコメント】

・8/13～20 日（8/15・16 除く）に河津町商工会館にて持続化給付金キャラバン隊の窓口が開設された。（河津町）
・例年実施していた観光イベントは中止。スカイランタンイベントは参加者限定により実施した。（南伊豆町）
・町が経済対策として、10 月 1 日からプレミアム商品券を発行する。（小山町）
・すそのんプレミアム付商品券発行。（裾野市）
・8/1～21 日まで、清水町役場中庭マルシェを開催し、飲食店のテイクアウト販売、小売店の特売を行った。（清水町）
・イベントに対する市からのガイドラインにより、年内のイベントは全て中止が決定。また、市が商工会も含めた事業者団体に対して補助金を出し、50％のプレミアム付商品券を発行。（沼津市）
・8 月中に「持続可能ものづくり事業支援補助金」、「紙・パルプ関連事業者新製品・新技術等開発支援補助金」を募集。（富士市）
・8 月末に島田市・商工会議所と共にプレミアム商品券の販売を行った。（島田市）
・毎年恒例のちっちゃな文化展は開催中止。市ではプレミアム付商品券を 11 月中旬より販売する予定。（掛川みなみ）
・20％お得なプレミアム付商品券を発行。当月では影響が大きかった飲食店等での使用がまだ少なく、家電量販店や車両点検整備での使用が多かった。（浅羽町）
・秋に例年実施されている各種イベントは中止もしくは WEB 配信となった。（奥浜名湖）
・例年 8 月第 4 土曜日に開催せれている、湖西市主催の「湖西おいでん祭」が中止。（新居町）